

周囲のたばこ環境及び行われている受動喫煙防止対策について

平成16年日医会員喫煙意識調査(男性:3,500人、女性:1,500人対象)

医療施設における喫煙防止対策

	平成12年(回収率 87.0%)	平成16年(回収率 85.9%)
何もしていない	14.0%	8.7%
禁煙タイム設定	1.3%	0.6%
喫煙コーナーを指定	44.9%	35.2%
院内全面禁煙	35.7%	54.2%

参考:学校における受動喫煙防止対策実施状況調査(文部科学省 平成17年調査)

学校敷地内の全面禁煙措置 45.4%

受動喫煙防止対策を進める上で生じている問題点について

医療施設における、入院患者への対応(長期入院患者、ホスピス、精神科等)

問題点の解決方法について

子どもなど、非喫煙者をたばこの害から守るためには、喫煙しないのが当たり前の社会へ社会規範を変えることが必要で、このためには、環境改善への働きかけを含む包括的な取り組みが必須である。

課題は以下のとおりである。

- ・ たばこ価格の大幅な引き上げ
- ・ たばこ自動販売機の撤廃
- ・ 学校における喫煙防止教育の強化(学校医の役割)
- ・ 路上喫煙の環境整備